

令和元年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立谷戸小学校	校長名	清水 宣宏
-----	------------	-----	-------

教育理念及び教育目標

教育の目的は生きる力の育成と自立（社会的・経済的）との理念に則り、そこに至る一過程としての小学校教育の役割を担う。子供が笑顔で目を輝かせて活動する場・ときにこそ最大の教育効果が得られる。保護者・地域と連携し、教育目標の達成を目指す。

- 心の豊かな子
自他を尊重し、認め合いながら協力して行動する児童（人間関係調整力）
- 元気で、ねばり強い子
自己を高めるために課題に向かって自ら考え、粘り強く取り組む力（実行力）
- 進んで学び、行動する子
豊かな言語活動を通して課題解決をしていく児童（問題解決力）

学校の特徴

- 1 一人一人を大切にしたい人権教育及び特別支援教育の推進
 - 人権・道徳教育を充実し、いじめ・体罰を根絶、自尊感情や自己肯定感を高める。
 - 特別支援教室の拠点校として、より適切で効果的な支援を協議し指導する。
- 2 質の高い授業づくりによる確かな学力の向上
 - ユニバーサルデザイン、言語・対話活動を充実し授業改善に努める。
 - 谷戸ゼミと朝学習・家庭学習を充実し、確かな学力の定着と学ぶ意欲向上を図る。
- 3 保護者との連携による読書活動及び健康教育の推進
 - 保護者に読み聞かせ等の協力を得た読書活動により読書好きの子供を増やす。
 - 体力向上と食育指導・生活習慣の改善等、保護者連携し健康教育を進める。
- 4 地域とともに安心・安全な開かれた学校づくり
 - 地域のネットワーク強化で防災・安全教育を推進し、児童虐待防止に努める。

目指す学校像（学校像、児童・生徒像、教師像）

- <学校像> かかわりを大切に、子供の笑顔と瞳が輝き、地域とともに歩む学校
- 人とのかかわりを大切にし「確かな学力」「ゆたかな心」「丈夫な体」を育む学校
 - 一人一人を大切に、個々の課題克服と改善を図る学校（特別支援教育の充実）
 - 教職員一人一人がチャレンジ・協働し、保護者・地域と手を取り合う開かれた学校
- <児童像> 思いや夢を思い描きながら自己肯定感・自尊感情を育む子供
- 「なりたい自分」をもち、目標に向かって努力・行動する児童
 - 自分のよさを知り、主体的に学び、人と関わる児童
 - 「やりぬく」「とことん」「こだわる」チャレンジする児童
 - 親切・感謝・認め合いの心をもち、自分も人も大事にする児童
- <教師像> 「なりたい教師」に向けチャレンジする「有言不実行を怖れない」教師
- 授業で勝負する教師 ～切磋琢磨して研究・研鑽に励む教師～
 - 児童のよさや危機に気付く眼をもち、ほめて伸ばしみんなを守る、温かい教師
 - 児童・保護者・地域と積極的に関わり、いつでもどこでも協働する教師
 - 教職に誇りをもち、服務・規律を守って適正に行動する教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

【人権教育】

(1) 人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。

【学力の向上】

(2) 基礎・基本の定着とともに、深い学びを実感できる授業を実施する。

【体力の向上】

(3) 丈夫な体とたくましい心を育てる。

【特別支援教育】

(4) 一人一人を大切にしたい、特別支援教育を推進する。

【地域との連携】

(5) 地域に信頼される学校づくりを行う。

2 短期経営目標

(1) 互いの良さを生かして協働する力を育て、いじめや体罰の根絶に努める。

(2) 基礎・基本の定着を図り、主体的に考えを伝え合い、学びに向かう力を育てる。

(3) 子供の生活全体を通して健康教育を推進するとともに、体力の向上を図る。

(4) 特別支援教室拠点校として、一人一人に応じた支援を充実する。

(5) 地域と密着した学校を目指し、地域・学校に貢献できる心を育てる。

課題解決に向けた実行力・人間関係調整力・言語能力の育成に重点を置いて育成を図り、自己肯定感や自尊感情を育む。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- (1) ①あいさつ、感謝や励ましの言葉、言葉遣いを指導する。また、「きれいな学校」をスローガンに掲げ、共用する場所の整理整頓や清掃に努める。相手を大切にする心、学校を大切にする心を育てる。
- ②児童により良い学級生活を目指した「行動目標」をもたせ、適宜学級力アンケート等で学級の実態を振り返り、PDCAサイクルを通して協働する心を育成する。
- ③オリンピック・パラリンピック教育を推進し、ボランティアマインド・障害者理解・日本人としての自覚・豊かな国際感覚等を重点に育成する。
- ④考え、議論する道徳の授業改善を図り、子供の内面を引き出し、自己の生き方を考え、他者とともによりよく生きる心情を養う。
- ⑤アンケート・面談で児童理解に努め、いじめ・体罰根絶を目指し虐待防止に努める。
- (2) ⑥ユニバーサルデザインの考え方を土台に、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を図る。特に対話活動を充実させ、児童が学びを実感できるようにする。
- ⑦読書週間、朝読書を実施し、読書に親しみ、読書の幅を広げる子供を増やす。
- ⑧東京ベーシック・ドリル等を活用して基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。
- (3) ⑨生活振り返り週間を年3回設定し、児童の生活習慣の改善を図る。
- ⑩食育年間指導計画をもとに、バランスよく食べる指導を重視した指導を推進する。
- ⑪体力ジャンプアップの取組、外遊びの励行とともに、体育の授業を中心に運動好きの児童を育成する。持久力・投力・柔軟性・敏捷性を重点に児童の体力向上を図る。
- (4) ⑫特別支援教室拠点校として教育相談会等で保護者の相談や児童のアセスメントにより児童の困り感を受け止め、特別支援教室と担任と連携しながら支援を進める。
- (5) ⑬地域・保護者と協力して学校の安全管理と防災教育・安全教育を推進し、防災や安全の意識啓発を図る。
- ⑭市民まつり・育成会等の地域行事に関わったり、保護者や地域の教育力を活用したりすることで、地域に貢献する心、地域を愛する心を育成する。
- ⑮学校公開や学校メール・ホームページによる最新情報の発信や、定期的な通信を発行する。また、学校評価・保護者面談等で相互の連携を深める。